

審議会等会議録

審議会等の名称	第5回新山口駅北地区重点エリア整備方針検討協議会
開催日時	平成22年3月25日(木) 14:00~15:30
開催場所	小郡総合支所 第1会議室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	<p>【新山口駅北地区重点エリア整備方針検討協議会委員】 青木豊太、青木尚二、鷗心治、梅田恵一、河野康志、齋藤英智、中村泰 西村良夫、野口嘉一、原田勝昭、福山泰弘、松井邦昭、吉村弘 (敬称略)</p> <p>【同オブザーバー】 高杉和典(代理)、工藤俊彦(代理)、古谷健(代理) (敬称略)</p>
欠席者	<p>【新山口駅北地区重点エリア整備方針検討協議会委員】 大庭達敏、桑原祥次、濱井昭巳 (敬称略)</p>
事務局	ターミナルパーク整備部計画課
議題	1 開会 2 議事「新山口駅北地区重点エリア整備方針(案)」について 3 その他
内容	<p>次第に基づき以下のとおり進められた。</p> <p><u>1 開会</u> <事務局> 資料確認 委員出欠状況の紹介 <市長> 挨拶</p> <p><u>2 議事</u> <事務局> 会議趣旨の説明 <会長> それでは、進めさせていただきたいと思います。 今、お話もございましたように、第5回を迎えますが、最終回を予定しております。今まで皆様方からいろんな御意見をいただきまいてまいりまして、それをもとに前回の素案をつくっていただきまして、それからパブリックコメントにかけまして、その結果が後で御報告があらうかと思っておりますけれども、踏まえた上で最終的な案をつくり、そして市のほうでは、今御説明がありましたように、しかるべき議を経まして正式なものとして決定すると、こういうことのございます。この会議とすれば最終回となりますので、どうぞ忌憚のない御意見をいただきまして、まとめることができればありがたいと思います。</p> <p>繰り返して、市長さんからも最初からずっと御説明もありましたけれども、山口市が広域県央中核都市の創造ということを目指しまして、山口市の総合計画をつくり、またそのもとで都市核のマスタープランをつくりまして、それらの上位計画に基づいて、今ここで問題になっておりますターミナルパークの整備構想をつくり、そしてこの重点エリアの整備構想を今つくろうとしているところです。これらの一連の流れの中で、今回のが構想とすれば一番最後のものかと思っておりますが、それを具体化するのはまだ今後のことにならうかと思っております。大きな方向性をこの検討委員会で示すことができまして、それに沿って広域県央中核都市の形成に向けて力強く進むことができればありがたいと思</p>

ます。

そういうことをごさいますて、私事ですが、お聞きのとおりちょっと今鼻声でありまして、出張が重なりましてあちこち行っておりますうちに、暑いのと寒いのが一緒になりまして、熱はないんですが、喉と鼻をやられまして少しお聞き苦しいかと思いますが、お許しただけならありがたいと思います。

それでは、議事のほうに入りたいと思います。

今日は、そこにありますように、議事は一つといいましょうか、その他を入れれば二つですけれども、主要な議事は一つとして、お手元に提示させていただいております整備方針の案について御意見をいただいて、委員会としての意見をまとめるところのごさいます。

それでは、進めたいと思います。

最初に、本日の会議録の署名人を指名させていただきたいと思います。

今回は、齋藤委員さんと松井委員さんのお二人をお願いしたいと思います。こちらとこちらになりますけれども、どうぞよろしくお願ひします。

最初に、パブリックコメントの実施状況を報告していただきまして、今回の案との関係等につきまして、御説明をいただきたいと思います。

その後で御意見等をいただきたいと思います。

では、事務局のほうお願ひします。

<事務局>

「新山口駅北地区重点エリア整備方針（案）」の説明

「パブリックコメントに寄せられた御意見」の説明

<会長>

ありがとうございました。

ただいま前回のときの素案を出していただいておりますが、それからの変更点と、それからこのたび新たにいただきましたパブリックコメントについて御説明をいただきまして、それをこの案の中にどのように反映させたか、そしてまた反映させる意向であるか、その取り扱いについて等御説明をいただきました。

委員の方々のどなたからでももちろん結構でございますが、質疑等がございましたら、御意見も踏まえましてどうぞお願ひしたいと思います。これが今日の議題の主なところですので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

できれば、順番はともかく最終的には皆さんから御発言をいただけたらありがたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。どうぞ。お願ひします。

<委員>

パブリックコメントについてちょっと質問なんですが、どういう方法で募集されて、どういった方からの意見があったのか、ちょっと参考に教えていただければと思います。

<事務局>

パブリックコメントにつきましては、市報でございますとか、あるいは市のホームページ等で周知をさせていただいております。いただいた意見の方につきましては、小郡の地元の方、それから以前小郡に住んでおられたという県外の方、あるいはその小郡以外の山口市に住んでいらっしゃる方というふうな、いろんなパターン、いろんな方から御意見をいただいているというふうな状況でございます。

<会長>

よろしいですか。ほかに何か。どうぞ、お願ひします。

<委員>

今日の案の部分の6ページですね、TPの整備基本計画よりとかこういうふうな絵があるんですが、多分これを協議されたときには、重点エリアをどうするかということは一切語らずにこの計画ができたと思うんですね。現実的に今

バスの空間と乗用車の空間がありますが、乗用車をここにとにかく張りつけるとしたら、これから向こうといいますか、西側については多分うまくいろんな建物の結線ができないと思うんですね。事務局さんにもときどき言っているんですけど、少なくともバスの空間といいますか、交通結線として考えれば、バスと乗用車の入れかえといいますか、これが必ず出てくるんじゃないかと思えます。

<会長>

今のは6ページの図についてですね。重点エリアの外の話になりますか。（「ターミナルパークのほうですね」の声あり）ターミナルパークのほうについて。

<委員>

今の重点エリアに入ってくるとした場合に、乗用車の交通が線で周りを囲んでいるわけですね。ということは、先ほど言ったメッセだとかいろんな施設が集まっているところに、観光バスを入れるとか、また観光のために山口方面いろんなところにバスを走らせるというその中で、これはこのバスの路線というのは集会施設の駅前にたまたまバスのセンターがあるよという形で、観光だとか交通結線という考え方でバスターミナルという部分が必要だとすれば、こちらにはつukれない、JRの土地がありますから、東側にもつukるといことがこれに関しては、将来的に出てくるんじゃないかということです。

<会長>

そうですね。重点エリアの右下のあたりの話ですね。重点エリアの外右下のあたりの「表口駅前広場」と書いてあるあたりのことですね。バスと乗用車の位置を入れかえる必要が将来出てくるのではないかという御意見でしたですね。はい。ありがとうございました。

ほかにいかがでしょうか。どうぞ。はい。

<委員>

パブリックコメントのほうにも2人の方が指摘をしておられますSLの記念館でございます。商工会議所としても以前意見を申し上げたのと同じなんですけど、重点エリアの中にSL記念館は私どもも不要と思っております。SL記念館が不要ということではなくて、SL記念館がむしろJR側のほうにつukったほうが、よりいいものになるのではないかという認識でおりますので、SL記念館はぜひあってほしいんですが、重点エリア外という認識に立っております。

それからもう一つ、整備方針案の15ページに、住居のことが書いてありまして、この中に「高齢者専用の集合住宅」という記載があります。パブリックコメントの中に高齢者だけでなく若者という言葉も入っておりますが、重点エリア内はどちらかという土地の高度利用になると思しますので、若者が入りやすい住宅環境というのはなかなかとりにくいかという認識でおりますから、整備方針としてはこの「高齢者専用の集合住宅」という記述でよいと思うんですが、若者向けの住宅については、重点地区外を優先すべきかなという認識に立っております。

以上です。

<会長>

ありがとうございました。2点ありましたですね。SL記念館は、むしろJR側にふさわしいので、重点エリアには不要ではないかということと、15ページの高齢者用の専用の集合住宅についてはこれでいいのではないかと、若者はむしろそこでないほうがいいのではないかとこういう御意見だったと、そういうことですかね。はい。ありがとうございました。

ほかの方でももちろん今に関連してもよろしいんですが、ほかでも結構ですが、御意見がありましたら出してほしいと思います。どうぞ。

<委員>

先ほどの御意見とは関係ないんですけども、一つ、キーワードとして御提言をしたいのが、医療福祉という言葉なんですけれども、まず、案の20ページを見ていただきますと、AゾーンからCゾーンまでありまして、レイヤーとクロスしてあるんですけども、その中に医療とか福祉という言葉がキーワードとして考えると出てこないということで、そういったのがどこに含まれるかというのを見ていきますと、14ページにサービスというところに診療所等の医療施設という記述はあるんですけど、少し弱いのかなというところで、もっと医療福祉というのを全面に出すといったところはどうかなという御提案でございます。パブリックコメントにもそういった記述が見えましたので、どうかという御提案でございます。

以上です。

<会長>

ありがとうございました。医療福祉というキーワードをもう少し全面に出してはどうかと、こういう御意見ですね。なるほど。はい。パブコメにもありましたね。そういえば。はい。

ほかにいかがでしょうか。どうぞ、お願いします。

<委員>

もう今テレビでもやっていますが、今度九州新幹線が23年ですか、春から大阪までJR西日本さんと九州のほうがり入れになるということで、やはり九州のほうからも人が見込まれるようになってくると思いますので、やはり玄関としてそう立派な建物ではなくてもいいんですが、やはりメッセあたり、複合施設等を充実してもらって、他県からの人が来るような感じでやっていたらいいというふうに思います。

それと、私も今まで言っていましたけれども、やはり新山口というのは、交通の便のいいところですから、要は高齢者住宅等なんかも入れていただければというふうに思っています。

以上です。

<会長>

ありがとうございました。

23年の九州新幹線が全通しますので、メッセの機能等を充実させて、他県からの集客機能をもっと図ったらどうかという御意見ですね。はい。ありがとうございました。

ほかにいかがでしょうか。今のように、具体的でページ数も言っていたら非常に見るときに助かりますですね。また、もう少し抽象的でも全体としての構成とかについても御意見があるかもわかりませんが、できるだけ対応はしてもらいたいと、事務局のほうにもしていただきたいと、思います。どうぞ。

<委員>

最後になって、余りひっくり返すことを言うとまずいかもかもしれませんが、ちょっと二、三点あるんですけども、6ページの先ほどの御意見で、重点エリアを考えていく上で、そのバスの拠点、自動車のプールですね、そこが逆転することもあり得るという話ですけども、これは、実は極めて重要なことだというふうに私は考えます。

今回、私は、ずっと私は建築の都市計画の人間なんですけれども、交通にこだわってほしいというそういうスタンスでずっと発言をしてきたつもりです。そういう何で交通に配慮しないといけないかというのは、もう御存じのとおりだというふうに理解していますけれども、承知していますけれども、この先ほどの九州新幹線の話も含めて、いわゆる公共交通、もしくは交通の結節点、交通のターミナルですね、そういった機能を重点化するためには、いわゆるそのバスとか、JRだけに頼ることではなくて、バスとかそういった公共交通の充実を図ってやっていく必要があるということで、この計画はこの計画、この計

画はこの計画ということで立案するというのもなかなか難しいことだと思いますので、整合性が図れるような、これから進めていく上で整合性が図れるような計画の修正、もしくは見直し、そういったものを考えていただきたいと思いますということが一点であります。

それともう一つは、その他の配慮すべき事項、22ページになりますけれども、これだけの重点地区の面積がございますので、いわゆる新しいニュータウンができるというふうな位置づけにもなり得るわけですね。そういったときに何を一番配慮しないといけないかという、やはり既成市街地との関連ですね。新しく道路もできるようですし、これだけの土地を活用していくわけですから、新市街ができるということになると、いわゆる既成市街地との関連をどういうふうこれから進めていくかということは極めて重要なことでもあります。

先ほどの図面に戻ると、当然南側の区画整理地区、ここの連携をどう果たしていくのか。高度利用高度利用と言っていますけれども、南地区の現状は人口がふえているかもしれませんが、駐車場が非常に目立っている、未利用地が非常に多いと、そういう状況はこれは否定できないと思います。南側の区画整理地区との連携をどういうふう考えていくのか。

それと、周辺の既成市街地ですね。北地区の南側の既成市街地、商店街、そういったところのまちづくりをどういうふうに進めていくのか、これはかなりの影響があると思います。それをこの計画の次のステップなり、中期的にどういうふう位置づけていくのかということ、これから進めていく中では、この計画に位置づけるというよりも、また上位計画を見直すなり、関連計画をつくるなりして、総合的に新山口駅周辺のまちづくりが進んでいくというようなシナリオをぜひ検討していただきたいというふうに思います。ですので、その他の配慮事項のところ、できれば、既成市街地の関連を十分に検討しながら、まちづくりを進めるといような一文句があってもいいかなというふうに思っております。

以上です。

<会長>

ありがとうございました。2点ありましたですかね。公共交通の充実のために整合性が図れるようなこの計画と、ほかの計画等との整合性を図れるような修正が必要になる場合も覚悟しておいたほうがよかろうと、こういうようなことでしたかね。第1点目は。

第2点目は、既成市街地との関連で、南側と北のここ以外の既存の市街地との間の関連については、それに関連する新たな計画の必要も視野に入れてはどうかと、こういう御提言だったのでしょうか。2点いただきましたですね。はい。ありがとうございました。具体的には、22ページに今の必要性を入れてはどうかとこういうことだったですね。御検討をいただきたいと思います。

ほかにいかがでしょうかね。どうぞ。はい。

<委員>

2ページの整備方針の位置づけの表なんですけれども、たてつけが山口市総合計画があって、マスタープランがあって、ターミナルパーク整備があるということで、この流れでたてつけがなっているということなんですけれども、じゃあそれぞれ基本方針がいつ策定されたかという部分を見ると、ページをめくっていけば書いてあるんですけれども、この表の中に例えば山口市総合計画であれば20年3月策定と、それに基づいてマスタープランが20年8月に策定されましたと。で、ターミナルパーク整備が21年2月に策定されて、これについては22年から26年にかけて実行していくというような流れが、この表でぱっと見てわかったほうが非常にわかりやすいんじゃないかなと。

最後に、新山口駅北地区重点エリア整備方針が、今回22年3月になるのか4月になるのかわかりませんが、策定されたという部分の流れがわかったほう

がいいんじゃないかなというふうに思いました。

以上です。

<会長>

ありがとうございました。2 ページの図に計画が策定された年月を入れてはどうかと、こういうことですね。流れがよくわかることです。はい。ありがとうございました。

ほかにいかがでしょうかね。どうぞ。はい。

<委員>

二つ申し上げたいんですけど、一つはパブコメのほうで、意見の2 とそれから3 の中にアウトレットというのが出てきまして、いろんな御意見があるものだと思ったんですけども、私の金融機関での経験から言うと、アウトレットというのがこういう一等地に出すもんじゃなくて、出ればそれは人はある程度集まってくるんですけども、このアウトレットって、はけ口というふうな意味を持っていて、実際に立地しているのもニュータウンの外れのほうであるとか、インターチェンジの重なるところだとかそういうところが多いんで、少なくともこの新山口のあの場所にアウトレットができるようなことは、むしろ望ましくないのではないのかなというふうに感じました。それが一つです。

もう一つは、この方針の9 ページのところの地価動向ですけども、たしか先週ぐらいに、平成22年の地価公示が出ていると思いますので、アップデートをされたらいかがでしょうかと、これが2点目でございます。

以上です。

<会長>

ありがとうございました。2点いただきました。アウトレットは、本来立地は大体中心部ではないのではないかとこういう御意見ですね。

それと、2番目は、9ページの地価は、また新しいものが出たから、それにされてはどうかとこういうことですね。はい。ありがとうございました。なるほど。

ほか、今どなただったか、手を挙げておられたような気がしたけど。違ったか。どうぞ。

<委員>

パブリックコメントの意見者2というところの一番最後のあたりに、3番、持続可能性というところで、テレビ山口を誘致したらどうかというちょっとビビッドな意見があるんですけども、ここまではちょっと難しいと思うんですけども、その情報発信というのは非常に重要ななと思っていて、例えばミニFM局とかローカルFM局みたいなものを、この北地区の重点地区の中にそういう情報発信機能として置くというのも一つ具現化の中で入れてもおもしろいかなと思います。

というのは、当然それは賑わいにもつながると思います。宇部なんかでもFM局は持っていますけれども、多少のその放送をしているということであれば、駅に来た人がそこに行ってみたりするということもありますし、生活情報なり観光情報なり、駐車場の空き情報とかいろいろその小郡からの小郡の情報をこの地区の情報をかなり広いエリアまで伝えることができますし、それは商業的なものとして宣伝媒体として使ってもらおうということもできるかなと思いますね。ここのパブリックコメントの意見というのは、そういう意味で何かこう具現化のところで見るとおもしろいんじゃないかなと思います。

<会長>

ありがとうございました。

情報発信の重要性と、そのための何か発信局のようなものを用意する可能性があるということですね。はい。ありがとうございました。

今のように、このパブリックコメントとして寄せられた意見が何ページかにわたって今日御説明をいただきましたが、これも少し見ていただきながら、そ

れとの関連もあわせて御指摘をいただけるのであればありがたいと思います。いかがでしょうか。もう少し時間がありますが、どうでしょうかね。

大分最初から言っていたいただきましたので、もう言うことは言ったと言われるところもあるかと思いますが、もう一度今日の案を徹りずに見ていただきまして、御意見を出していただけたらありがたいと思います。どうぞ。

<委員>

読まさせていただいたんですが、よく整理されておると思います。

それから、今から今度具体的に整備計画等をつくられて、具体的な今から事業を実施されていくんですけれども、やはりあくまでここは駅で人が集まるといのが大きなポイントになりますので、可能な限り、やはり地元の人もし、来られる人も楽しい、そして外に対して自慢できると、そんなまちづくりをできるだけいろんな企画、あるいは整備計画の中で考えをいつも入れてほしいなと思いますので、よろしくお願いします。

<会長>

ありがとうございました。

前にも、最初のころにもそういう御意見をいただきましたですね。そういえば。ありがとうございました。

<委員>

もうこの期に及んで、内容についていろいろ申し上げるつもりもありませんし、その記憶もないんですけれども、パブリックコメント、ちょっと細かいことを申し上げると、細かいというか結構大きいことかもしれないけど、今までやっぱり表現がわかりにくいという指摘は、委員の中からもあったと思います。

今回、パブリックコメントをとってやっぱり2人の方から同じようなことが言われている、カタカナが多いとか一般的でないという指摘があり、正直私もそう思っています。今までは遠慮しておりましたけど、やっぱりわかりにくいと思います。これはもう感想です。済みません。意見として通すつもりもないんですけれども、感想を申し上げますと、せっかくパブリックコメントを提出して、そういった意見もいただいたので、そんなに意地を張る必要もないんじゃないかなという感想を持っています。だれが読むんですかと言ったら、市民ですと、結構高齢の方も多いですと。

それから、カタカナにするというのは、これは何を常識とするかによりますけれども、カタカナにするというのは、本当一般に、それこそマネジメントとかそのような言葉が出てきますけど、そういう本当に一般に使われているものであればわかりますけど、あえて何というか見慣れない言葉をカタカナにするというのは、それは目立つという意味ではいいかもしれないけれども、やっぱり一般的ではないんじゃないかなというふうな気がします。どうしてもやるなら、私なんかの感覚だったらそのまま英語で表記してもらったがよっぽどずっと入るとい感じがむしろするので、何か中途半端な気がするので、その点は再考する余地があるんじゃないかなというふうな、もうこれは感想です。聞いていただかなくても結構なんですけど、一応申し上げたということです。

もう一点だけ申し上げますと、済みません、やっぱり銀行員なんでお金のことが気にかかります。最初に申し上げておりましたもうそのままになっているんですけど、これも繰り返し言うつもりあんまりないんですけど、これも感想として申し上げますと、いやこれを見ると、プランができましたと、いや立派なものをつくってくれそうですというふうにみんな思うと思います。で、じゃあ幾らかかるんだろうか、それによってどんな負担が将来的に市民に残ってくるのかというふうなことを含め、そして、実際にやってみたら、人口が減りました、税収が減りました、プランは縮小いたしますという話になったときに、それが明らかになったときに、これはやっぱり行政に対する不信感につながると思います。

ですから、その点をもうこの会議は、そういう意味では方向感を定めるものだということは、最初に説明をいただいたのでそれも理解しております。理解しておりますけれども、全く無視してやるというのは、その具体的な案の中に、もういろいろな施設をつくるということは明確に書いてあるので、ある程度概算わかってしまうと思います。それが現実的なものなのかどうかということに改めて検討してから走ったほうがよろしいんじゃないかなというふうに思うところです。別にどうしてほしいというつもりはありませんが、一応意見を求められたので感想を申し上げました。

以上です。

<会長>

ありがとうございました。

カタカナ表現がわかりにくく再考の余地があると、これはパブリックコメントにも二つか三つか指摘がありましたですね。

それから2番目は、将来の市、あるいは市民の財政負担について、方向性を示す会議であるということは理解できるけれども、財政負担が幾らかあるかということは、何ぼかはわからない、全くわからないわけではないだろうから、そういうことを少し検討してみてもどうかということなんでしょうかね。はい。ありがとうございました。特に将来の財政負担については、初めごろたしか御意見をいただきましたですね。

ほかにいかがでしょうか。はい。

<委員>

パブリックコメントの一番最後に、下に「終わりに」ってあるんですけど、ここは非常に大事だと思うんですね。今多分平成27年ということですから、5、6年先のことが完成ということで話し合いをしていると思うんですね。今、現実的に私も再開発組合としても動いていますが、やはり日常今日、明日が忙しい人たちに、5年先7年先の話なんてまず話が通じないよという部分があるんですね。

先ほどから出ていますけど、情報発信という中で、この地域の中でどういう情報を出していくんだと、逆にそれをするためにはどういう人材がいるのだと、そういうことをある程度考えていって、この文書の下にありますけど、市のスタッフは基本から学習して当たるべきだと書いてあるんですが、何か専門チームをつくって、5年先ぐらいから事業が動くということを考えれば、そのときに必要な例えば観光センターにしたって、鉄道博物館にしたって、いろんなコンセプトが出ています。

我々は再開発する部分では、床を売るという部分がございますので、いかに安く床を提供できるかということで今からシミュレーションを始めているわけなんですけど、現実的にその先ほど出ていますが、官が税金を使ってやることやからどうでもいいやという発想じゃなくて、今から若い人たちを入れて、どんどんそういうシミュレーションをする、シミュレーションをする中で人材が育っていく、そうでなくても今は商工会議所だとかいろんな団体の方がいらっしゃいますが、5年先7年先のこれについてどうこうを考えているという部分はほとんどないと思うんですね。だからそういうものをある程度の時期に立ち上げて、十分練って、市民の何と申しますか、同意をいただいて、それを実現化するという方法論も今のうちに検討すべきじゃないかと思います。

<会長>

ありがとうございました。

パブリックコメントの最後のところにある実施計画について、市のスタッフが基本から学習してとかありましたけど、シミュレーションをつくるなり勉強を重ねていく必要がある、こういうことですね。はい。ありがとうございました。

ほかにいかがでしょうか。

<委員>

これをもとにこの北重点エリアの整備方針を読ませていただきまして、これをもとに今から計画なさると思いますけれども、実は昨日も宇部の商工会議所と小野田、山陽、そして厚狭と楠と一緒に会議をやりまして、それで私、この重点エリアのこの内容をちょっと読んでおりましたので、その話をちょっと出してみたいんですよ。そしたら、宇部の商工会議所さんが、小郡の駅を橋上駅にされるということはこれはすばらしいことだと、それで山口市長さんにも、これをぜひ宇部線と山口線をつなぐことだけはどんなことがあってもやってもらうように、そして全体の宇部の地域の方々も応援するから、ぜひひとつこれはお願いしとってくれとこういうことでもございました。

それと、北地区に対する何でございませうけれども、やはりいろいろ今から住宅、あるいはお年寄りの施設、そういったものができると思いますけれども、やはり何かひとつ活性化できるような施設ですね、例えば今先ほど言われましたように、鉄道記念館とか鉄道なんかというのができても、これが全国からでも広域からできるだけ人が寄ってくるような、そういった施設に一つお金がかかってもやっていただきたい、そうすることによって、今度これがここが発信の地となって、下関とか、あるいは萩とか、あるいは山口の歴史と文化とか、そういった今度は観光に結びついてくるような施設をここに一つつくっていただきたいなとこういう意見も出てまいりましたので、一つ山口市だけの問題ではなく、これは山口県全体の問題としてもひとつ皆さんが考えていただきたいという意見が昨日出ましたので、ひとつ御報告をしておきます。

<会長>

ありがとうございました。

山口市の外の今のは宇部市の方の御意見でしたが、御紹介をいただきまして、駅の橋上駅とか、あるいは宇部線と山口線の一体化、全国から集客できるような何かそういう施設を期待しているというエールがあったと、こういう話でもございました。はい。ありがとうございました。

どんな、いかがでしょうかね。ほかの全国的な動きの中でどんなでしょうかね。この観光だけに限りませんけれども、こちらの動きとの関係で見ましてですね。いかがですか。御意見は。

<委員>

今回の議論をいろいろ聞かせていただいて、いろんな御意見があるんだなと思って、個人的にはすごく勉強になりました。もう一つは、行政の方々の取りまとめの仕方が非常によく参考になりました。要は最初のものを見比べてみると、配意すべき事項だとか留意すべき事項のところへ、私たちの御意見をある程度まとめられたのかなというふうであって、こういう形だと非常に格好としては自然に見えるんですけど、ただ一つ、22ページのその(4)番のその他配慮すべき事項、配慮ですね、この配慮という言葉がちょっと引っかかるというか、一般的な表現とはちょっと違うかなというふうには個人的には感じるところです。

それともう一つは、ここに記載してある1番から4番までというのは、結構今後計画を進められる上で重要な事項かなというふうに思います。そういった意味では、少し何というのかな、つけ足しのように見えて軽い感じがするかなという、これ結構私たちが出した意見をもとにつくられているページだと思うので、ページネーションをもう少し工夫をしていただくとかがかなというふうには思います。

それともう一つは、見比べてみると、その24ページのその(2)番の留意すべき事項というのと、どういう区分をするかなというところで、ちょっと正直具体的なアイデアがなく申し上げていますが、ちょっとこういう冊子のページネーションとしては不自然な感じが今見るといたします。はい。後出しのよ

うで大変申しわけありませんが、以上でございます。

<会長>

特に22ページと24ページでしたか、行政の方のまとめ方が参考になったということで確かにあるかもわかりませんですね。22ページも24ページと配慮すべきというのと留意すべきとどういう違いがあるのかなというのが気になるのと、こういうのが一つありましたですね。

もう一つは、このほうが最初に指摘をいただいたことだったんですけども、むしろ22ページに書いてある配慮すべき事項が大事なんだと、こういう扱いにするべきではないかというお話ですかね。

これは今のについては、何か事務局のほうはありますか。22ページ、24ページもありましたが、特にページについて、前のとき説明があったような気もしますけど、事務局のほうから。どうして配慮すべきほうに書いたのか、それよりも前に書かなかったのかということですよ。

<事務局>

御指摘をいただいた件でございますが、22ページのその他の配慮すべき事項につきましては、整備方針の本筋に係るといいますか、導入すべき機能・施設でありますとか、考え方、こういったものとかかわりが非常に深い部分について、同じ項立ての中で整理をさせていただいているという状況でございます。

一方の24ページにつきましては、いわゆるその整備方針の具現化に当たって事業展開をしていくというその事業に着目した部分において、ここで記述をいたしております、そういうことから5として項立てを書いておまして、その整備方針の具現化に当たってというふうな中で整理をさせていただいております。ただ、わかりにくいという御意見、御指摘もありましたので、ちょっと客観的にまた見てみまして、いろいろ検討してまいりたいというふうに考えております。

<会長>

そういうことのように思いますが、私が理解していたんでは、前にそういう説明をいただいたように思いましたけれども、配慮すべき事項に書いた理由は、私の理解は間違っているかもしれませんが、この検討委員会は、導入すべき機能と土地利用について意見を求められておるわけですね。それに直接にかかわることはもちろん前のほうに書いてある。しかし、配慮すべき事項は、それに直接にかかわることより関連は持っているけれども、直接にかかわることから見ると、それから少し距離があるというふうに理解されたんじゃないのかと思ったんですが、違うんですかね。

読んでみて気になる場所があってもよろしいと思うんですね。といいますのは、パブリックコメントを見て何ページかにわたっておりますが、そのここに書いてあることは、この検討委員会のテーマである導入すべき機能と土地利用ということ以外のこと、その上位計画やそれを取り巻くことについての意見が非常にたくさん書いてあります。それは読む人から見れば、意見を求められたほうからの立場に立って考えると、確かに導入すべき機能と土地利用が問題だというのはわかるとしても、それにかかわることを言いたいというのも自然なところがあるわけですね。だから恐らくパブリックコメントを見たら、もしこれを厳密にこう分けたら、導入すべき機能と土地利用ということ以外のことのほうが文字数じゃ多いんじゃないかと思うんですが、それも理解はできるわけですね。

ですから、そういう点もここで配慮すべきとして入れられたのかな、パブリックコメントの関係でいえばそういうことになろうかと思うんですが、読むほうの立場から見れば、周りの関連する部分について、意見も言いたいし、それが他の関連がどうなっているのかが知りたいというのが自然な気持ちだろうと思うんですね。それを無視しないで、ここでできるだけ取り込んだというふ

うに私は理解しておったんですが、余り大きな間違いがなければいいんですが、大きな誤解があれば事務局のほうから指摘してほしいと思うんですけどね。よろしいですかね。余り大きな間違いはないようですね。

それじゃ続けさせていただきたいと思います。ほかどうでしょうかね。いかがでしょうか。どうぞ。

<委員>

整備方針の12ページに、今基本的な考え方で3つほど項目が上げられている点に関して、このままでよいというスタンスの意見を言うんですけど、パブリックコメントの意見者2の方、それから意見者4の方、この2人ともどちらかという、この新山口駅に行政機関を含めてここをメインというか中心に持って行ってほしいという意見が書かれているように思えるんですけど、それについては反対だということでございます。つまり現状の整備方針のままでよいその理由は、山口市というのはもう御承知のとおり第3次産業が9割を占める産業構造になっております。その反面、製造業とほかの分野は非常に弱いということなんですけれども、逆に宇部市さんとか防府市さんというのは、宇部市は素材型の製造業、防府市さんは加工組立型という製造業を中心の都市になっております。山口市とこの近隣の都市の状況を踏まえますと、この新山口駅近郊というのは、今整備方針に上げてあるとおり、広域経済交流の中心となる場所であるということがもうはっきり言えると思うんですね。と同時に、また県の玄関口となるようなJR、高速道路等の結節点でもあると。そういうような理由から、現在のこの整備方針の考え方が一番妥当だというふうに思っております。

新山口駅に全部集中させるというのは、これは別の意味での弊害をもたらすことでもあり、山口市の旧中心部との間との産業交流も含めましても、この新山口駅の位置づけというのは、全部を集中させるのではなくて、全体の結節点となるという機能で一番いいのではないかというスタンスでおります。

以上です。

<会長>

ありがとうございました。

12ページのところに、整備方針の基本的な考え方について、現状の整備方針でよいとこういうことの御意見のようですね。新山口駅に山口市全体の機能、山口市全体の中心を集中させるという考え方には賛成できないと、こういう御意見であったかと思えます。ありがとうございました。

ほかはいかがでしょうかね。パブリックコメントも見ていただきながら、今の今日の整備方針案で、この重点エリア地区に導入すべき機能と、それから土地利用について書かれておりますけれども、特にそういう観点から見て、全体を1ページからですが、ずっと眺めていただきまして、大きな齟齬はないかどうかですね。少し先ほどの4ページの地図なんかは、修正をして検討をしておると、方向を検討するということのようにでしたが、そういう点もありますけれども、細かな点で地価をもうちょっと新しくするとかいろいろな点はもちろんあるかと思えますが、全体としてどんなでしょうかね。2ページでは、この重点エリア整備方針、今回の検討課題がこの市全体におけるほかの上位計画等、あるいは並列計画もありますが、どういう関連があるかを示したものでね。

3ページは、広域県央中核都市の創造というこれは上位計画のことにありましたけれども、それらの説明等を踏まえて、そして4ページでターミナルパーク整備というのが都市核の構想から出てきた。それについての説明、それが4・5ページとこうありまして、6ページでこの重点エリアのところを含めて、新山口駅の主にここは北側ですけども、図面が示されています。それから対象としている重点エリアの概要が7ページ、8ページにあります。8、9までありますですね。そして、それがどのように検討されてきたかが10ページか

ら少し昭和48年から云々とか説明がありますですね。同時に11ページでは、この山口市だけではなくもうちょっと広いところからの位置づけが書かれております。空港と港もきちんと入れていただいていますですね。

それらを踏まえまして、12ページから本論といたしましうか、整備方針で基本的な考え方が今御指摘いただいたような12ページのところにあり、それを13ページに図示して、ちょっと議論に何度もなりましたし、パブリックコメントでも指摘をいただきましたプロスペリティ、アイデンティティ、サステナビリティという3つの層の問題、こういうふうに今12ページを13ページのように表現しまして、そして14ページから導入すべき機能・施設が上げられております。それぞれの3つの層に対応するような形で説明がなされております。それが、16、17、18、19となりまして、20ページがもう一つのテーマ、土地利用についてです。20、21ですね。そして、22から配慮すべき事項、それからスケジュール等があります。全体の流れはそういうふうになっております。

最後に、用語の説明が幾つかありましたですね。大体そういう大きな通して見れば、そういうことなんです、いかがでしょうか。

一応御出席の皆様方からは一応御発言はいただいたんですが、まだもちろんあれば、お願いしたいと思います。どうぞ。はい。

<委員>

済みません。今までこれできる、方針のこの案ができるまでいろいろと意見を皆さんもおっしゃったんだと思います。それで、この今日いただいた資料も何日も前にいただいていますので、皆さんも多分ごらんになっていらっしゃるだろうと思います。

そういう意味で、今日は、大分その意見の出具合もといいますか、もう一つ出尽くしたということであれば、今日も市長もいらっしやって、皆さんお忙しい中、集まっているので、無理にその定刻にこだわらずに早目に切り上げてもよろしいんじゃないかというふうに思うんですが、いかがでございましょうか。

<会長>

それでは、特にほかに御意見はないようですから、議事1につきまして、ここにいただきました今日のこの案について、さらに今日御意見を幾つかいただきました、それを踏まえて、基本的に大きな方向性の違いというのはないように私には思えました。それで、それらを踏まえまして、先ほど事務局のほうからも少しそういうことがありましたが、幾つかの点で細かな修正をしていたかどうかと思うんですけれども。

それと、それからもう一点、パブリックコメントを今日いただきましたですね。これにつきましても、幾つか修正をさせていただいたほうがいいのかと思う点がありますけれども、その両方を含めて、この案に対するマイナーな修正を会長と、それから事務局のほうに一任させていただくということでまとめさせてもらってもよろしいですかね。(「異議なし」の声あり)それでは申しわけありませんが、そういうことでまとめさせていただきたいと思います。

では、5回にわたりまして御意見をいただきましたが、本日の議事はこれで終わりです。

その他がありますので、ひとまず事務局にお返ししたいと思います。

3 その他

<ターミナルパーク整備部長>

最後に事務局を代表いたしまして、私から委員の皆様にお礼を申し上げます。

吉村会長をはじめ、委員の皆様には、昨年の10月から半年間という非常に短い期間ではございましたが、一回一回の会議におきまして、たくさんの御意

見、あるいは御指摘等をいただきましたことで、本市の最重要プロジェクトでございますターミナルパーク整備の新山口駅北地区重点エリア整備方針をまとめることができました。この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

今後は、この方針に基づきまして、産業交流拠点としての小郡都市核づくりをリードする新たな市街地形成を早期に実現してまいりたいと考えております。

最後に、委員の皆様方におかれましては、今後も重点エリアのみならず、ターミナルパーク整備全般にわたりまして、機会あるごとに御指導、御協力をいただきますようお願い申し上げます。私の委員の皆様へのお礼とさせていただきます。本当に皆様ありがとうございました。

<会長>

それでよろしいですかね。（「はい」の声あり）

市長さん、何かございますか。よろしいですか。

<市長>

本当、5回にわたりまして、委員の皆様方、本当に多忙な方々ばかりでございまして、時間を割いて、会長さん以下、本当にこの取りまとめをしていただきまして本当にありがとうございました。いろいろ先ほどからお伺いしております、いろいろ御意見もまだございます。そしてまた、やはりどういいますか、整備方針ということでもっと具体性をという感覚も私どもも持っております。

また、そうしたことにつきましては、これからこの整備方針に基づきまして、それぞれの例えば市街地再開発をしていくときには、市街地再開発計画をつくらなきゃいけませんし、また当面、すぐ新年度におきまして今2ヘクの遊休地がございまして。ここの活用、ここにどういった機能の整備を進めるか。これについては基本計画、また基本設計と進んでいく考えでございまして。その整備方針に基づきまして、そうした形を今度具体的な基本計画としてあらわしていこうと、そのような中でいろいろどういいますか、賑わい、いろんな形の中で提案もございまして。メッセという提案もございまして、またいろいろな医療介護、あるいはその学習施設とかいろんな提案がございまして。そういったことを含めながら、また基本計画の中に生かしていこうと思っておりますので、これからはまたいろいろと御指導を賜る、また御支援、御協力を賜ることが多いかと思っておりますが、どうかよろしく願いをいたします。

私ども事務局側のことで申しわけございませんが、実は今ごあいさつを申しましたターミナルパーク整備部長は、この3月31日をもって定年退任ということになりますけれども、また引き続いて、私どもJR西日本さん等とさまざまな協議、また国交省とさまざまな協議を重ねてきておりますので、いわゆる再任用という形で残っていただいて、部長ということは退任いたしますけれども、また残っていただいて、涉外、特にJR西日本さん、また国交省さんとの協議に当たらせていただきますので、これからはひとつよろしく願いをいたします。このような形でまたお世話さまになりますので、どうかよろしく願いをいたします。本当にありがとうございました。

<会長>

私も一言ごあいさつさせていただきます。

5回にわたりましてお忙しい中をお集まりいただきまして、どうもありがとうございました。今、市長さんの話もございましたけれども、具体的なことはこれからでございます。ほかにも御意見をいただきましたけれども、この重点エリアは、エリアで言えばある一定のそれほど広い地域じゃありません。まだ駅前の方もあれば、南の方もあります。それから市全体でももうちょっといろいろな構想があります。それらをつなぐのはやはり交通の計画であろうかと思っておりますが、それらを全体として、どういうふうにしていくかということの全体像について、常に市のほう側から市民に対して、全体像がこうで、その中

	<p>の今ここをこういうふうにしよとしてしているんだということをかみ砕いてPRしていくといひますか、知らせる必要があるなというのをいろいろなところで感じます。</p> <p>それぞれの例えはこの委員会は、狭いことについて任務を持ってそれを果たす。それはそれで大事なことなんですけれども、全体としての方向性、これがどうであるのかということ、市民の人たちが職員も当然ですけれども常に意識しておる。それが頭にぱっとうすぐ浮かぶようになることが、市民のエネルギーを結集する上において非常に重要であろうとこういうふうに思ひます。</p> <p>市長さん、ずっと言っていらっしやいますですね。中核都市、特にここでは広域県央中核都市という言葉で表現されておりますけれども、市町村合併が一段落いたしましたけれども、やがて迎える地域再編は、これは道州制であろうと思ひます。その中における山口県というのは、非常に微妙な立場に置かれざるを得なくなろうと思ひます。</p> <p>県庁がなくなったら、当然県都ではなくなりますが、県庁のない山口市というのを想像すると、なかなかこれは大変なことになるだろうということは想像にかたくありません。そういうことを考えますと、このたびのこの計画、ごく一部ですけれども、全体の中に占めるその重要性、そして山口市が描いている広域県央中核都市というものの重要性もおのずとわかってくるであろうと思ひます。400億円余りの特例債はどのように使うかも非常に大きな関心のあるところでありますけれども、将来の負担のこともありますので、それらのことを考えながら、ぜひとも力強い将来の山口市に向けて、このたびの検討委員会の結果が生かされていくことを祈りたいと思ひます。どうもありがとうございました。（拍手）じゃいいですか。</p> <p><事務局></p> <p>それでは、以上をもちまして、新山口駅北地区重点エリア整備方針検討協議会をすべて終了させていただきます。ありがとうございました。</p> <p>以上で会議を終了した。</p>
会議資料	<p>資料1：パブリックコメントに寄せられた御意見 資料2：新山口駅北地区重点エリア整備方針（案） その他：会議次第、委員名簿、席次表</p>
問い合わせ先	<p>ターミナルパーク整備部計画課 TEL 083-973-8193</p>

